

【第4回審議会意見シート】主な意見等

ブロック（エリア）の設定に当たっての視点	<p>【ブロックの設定に当たっての視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の再編は、加須市のまちづくりと密接につながっており、それを踏まえ考える必要がある。 ・学級数や生徒数は基本になる視点だが、すべての学校で揃えなければならないわけではない。 ・まちなかの学校と郊外の学校では条件が異なるため、その違いを踏まえた学校再編を考えていくべき。 ・通学の負担が子どもたちの学びへの負担とならないよう、地域全体で支える体制が必要。 ・意見交換会等の際、行政側から財政面を踏まえた「加須市の今後の考え」を伝えるといいのでは。 ・「小学校の通学区域」は「中学校の通学区域」と連動していることから、学校形態の視点も含めた検討が必要になる。 ・ブロックの設定後、どのブロックを優先的に進めるべきか検討する必要がある。 ・地域の特色を残しつつ、柔軟性をもってブロックを設定することで、地域の方々にも理解してもらえるのではないか。 ・20年後には、交通インフラや働き方の変化があると思われる。例えば、自動運転が普及した場合、スクールバス等の問題は解消されるかもしれない。 <hr/> <p>【ブロックの設定に関する具体的な提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を単位としたブロックの設定 ・河川や線路、幹線道路をベースとしたブロックの設定 ・旧1市3町やコミュニティを中心としたブロックの設定 ・児童生徒数の推移をベースとしたブロックの設定
「事前の意見募集」等の実施方法	<p>【事前の意見募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見募集は全市民を対象に、積極的に実施する。 ・地域によって出てくる意見に差があると思うが、その差を地域の実態と捉え、どのような点を重要と考えているかを明確にして協議できるとよい。 ・総花的で感情的な回答が多くならないよう、設問内容は具体的なものとしたい。 <hr/> <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々から直接意見を聞く重要な場であり、納得を得られた協議にすることが大切である。 ・他市の先行事例から得た良い点や改善点などを話の中に取り入れることで、加須市の取組が身近なものとして捉えてくれるのではないかと。 ・スクールバス等通学に係る事項については、付帯事項として最初に取り上げてほしい。 <hr/> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少ない学級・学校よりも適正規模の学校の利点を事前に明示しておかないと感情的な意見が多くなる。 ・小規模の学校と適正規模の学校における「経験格差」の問題は非常に大きいため、学校再編することの利点をしっかりとご理解いただいた上で意見を伺えるとよい。 ・予め事前の意見を募集した上で保護者や地域住民との意見交換会を行うことは、スピード感があっていいと思った。 ・なるべく早く実施し、地域住民や子どもたちにも現状と今後を伝えてほしい。

- ・ 審議会では、委員の皆さんの積極的な参加があり、非常に有意義な協議が進められている。今後も、協議の目的・ねらい・ポイントを明確にした話し合いができるとうい。
- ・ 児童生徒数の推移はひとつの目安となることから、市民に知ってもらうことは大切であるとする。
- ・ 教員として現状をどう見ているのか聞いてみたい。
- ・ 先行している自治体から学校再編の取組結果や改善点などを学び、生かせるとうい。
- ・ 法整備が進み、送迎バスの空き時間を路線バスなどとして活用できるようになる。深谷市では、路線バスの新たな取組を開始している。学校再編の対象地域に対し、スクールバスを駅や病院と結ぶ路線バスとして活用することで、交通の利便性向上が図られるかもしれない。